

中学校「歴史・公民」教科書の採択に、政治介入は許されません！

「つくる会系教科書」採択に不当な圧力を加える議員の会

「子供たちに誇りと希望をつなぐ議員の会」

自民党ほか保守系議員でつくる「子供たちに誇りと希望をつなぐ議員の会」は、中学校教科書（歴史・公民分野）に、「つくる会系教科書」（育鵬社版・自由社版の2つ）の採択を迫り、教育行政に不当な介入をしています。*以下、「議員の会」とします。

「議員の会」は、教科書採択に先立ち、教育委員会に申し入れを行い、3月に検定合格した教科書は、自衛隊を憲法違反と強調、国旗・国家・天皇を簡略して扱っている、二宮尊徳など歴史上の重要人物を教えないなどと問題視し、自虐史観の教科書でなく、愛国心や天皇中心の歴史観を強調するような教科書採択を求めています。

これは全国的に、自民党ほか保守系議員が、本気で介入し始めているからで、絶対に軽視できません。

「子供たちに誇りと希望をつなぐ議員の会」

熊本市議会での所属議員

【自由民主党熊本市議団】19人

小佐井賀瑞宣・寺本義勝・高本一臣
大島澄雄・原口亮志・くつき信哉
紫垣正仁・澤田昌作・倉重徹
満永寿博・三島良之・津田征士郎
斉藤聡・坂田誠二・竹原孝昭
牛嶋弘・税所史熙・落水清弘
江藤正行

【くまもと未来】10人

松野明美・田中敦朗・重村和征
大石浩文・田尻善裕・白河部貞志
藤山英美・田中誠一・下川寛
田尻清輝

【市民連合】1人

家入安弘

* 熊本市議会に30人

* 県下では、14市8町に200人

9月議会の一般質問で圧力

8月20日の市教育委員会会議で歴史分野「東京書籍」・公民分野「教育出版」に決定、9月1日に採択結果が公表された後も、「自民党」「くまもと未来」は、9月議会一般質問で、採択結果に不当に介入。

熊本県教育委員会が、県立中学の副教材に「育鵬社」版公民教科書を副教材に採用するとしたため、熊本市にも副教材として採用することを求めました。教育長は、「2種類の教科書を使用することは混乱を招く」と採用しない旨の答弁をしました。

「意見交換会」という名の政治介入

熊本市議会で「議員の会」の主要構成会派となっている「自民党」「未来」の2会派は、9月22日に市教育委員会との「意見交換会」を開きました。議員の呼びかけに教育委員長・教育長が出席し、議員側からは「つくる会」系教科書の育鵬社版を選ばなかったことへの不満が出されました。そもそも教育委員会は、一般行政からも独立した機関です。行政や政治の介入は許されません。

【控室から】 「原発ゼロ」へ、声を大きく

上野 みえこ

9月23日、「玄海原発」の見学会に参加しました。佐賀県玄海町は人口約6,700人、玄界灘に突き出た岬の先端にある「玄海原子力発電所」には、4つの原子炉があります。1号機は、全国でも老朽化による危険が最も高いといわれています。3号機は、ウランよりもはるかに危険なプルトニウム燃料を使ったフルサーマル発電が行われています。原発を紹介するサイエンス館「玄海エネルギーパーク」と、点検作業のための訓練センターを見学しました。「3・11福島原発事故」から半年以上、「原発は幾重にも安全対策が講じられているので、絶対に事故は起こらない」というガイドの説明は、とても空虚に聞こえました。いまだに「安全神話」を振りまく原発の異常を目の当たりにしました。小さな町に400億円を超える原発マネーをつぎ込み、原発を無理やり誘致した九州電力。しかし、いまだに収束しない福島事故が、原発の恐ろしさを物語っています。原発と人類は共存できません。次の時代を生きる子どもたちのため、「原発ゼロ」に向け、声を大にしたいと思います。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会

NO. 771

2011年10月2日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

遅れた市営住宅の計画修繕 畳替え 20 年以上放置 3213戸

益田牧子議員は、市営団地の計画修繕の遅れを指摘し、予算増額を求めました。2010年度の熊本市営住宅の維持補修費は、約3億5千万円。地デジ改修、火災警報器を除けば、2億2千万円。本年度は、更に減らされ、1億3500万円です。

畳替えの目安は20年ですが、去年の畳取替え戸数は、5団地・304戸に止まっています。畳替え時期が来ているのに、積み残しの団地は、右表の通り、25団地・3213戸もあります。また、風呂のない団地は、31団地・約4,000戸もあります。

住環境改善とともに、厳しい状況に置かれている地元建設業者の仕事起こしにもつながり、市営住宅改修予算の増額を求めました。

長寿命化計画を年内に策定、計画修繕に取り組む

幸山市長は、「今後ますます予防保全的な維持管理が必要になる。中長期的な計画を策定し、計画に沿った事業実施に必要な国からの交付金確保に努める」と答弁。

そのためにも、花畑・桜町の再開発ビル建設、3000名規模の会議場建設は、キッパリ中止すべきです。

こんなに違う本山県営団地と市営団地 住宅使用料は同じなのに・・・

県営団地では、風呂のない団地へは、転居後空き室になった時に風呂釜設置を行っています。水道も直圧方式へ切り替え、風呂・トイレ・台所などのバリアフリー化を進める「住戸改善事業」を実施し、入居者から喜ばれています。県営本山団地は、ベランダに水道が引かれ、とても便利です。

一方、並んで建っている市営本山団地は、ベランダに水道がないため、洗濯するにも、台所からホースを伸ばしています。水道もタンク方式です。

同じ住宅使用料を払いながら、市営団地の場合、いつになったら改善するのか、その見通しありません。県営並みの早急な改修が求められます。



たたみ替え 20 年以上放置の団地・戸数

団地名	棟・住戸数	築経過年数	団地名	棟・住戸数	築経過年数
上の窪団地	5棟・119戸	29年	日吉団地	3棟・110戸	26年
新南部団地	2棟・50戸	29年	月出団地	8棟・195戸	24～25年
上の郷団地	4棟・76戸	29年	薄場団地	7棟・116戸	24～25年
大江団地	1棟・20戸	28年	桜北団地	1棟・50戸	24年
戸島団地	3棟・135戸	29年	灰塚団地	3棟・65戸	24年
東尾ノ上団地	2棟・38戸	28年	池上団地	9棟・170戸	24年
城南団地	2棟・39戸	29年	楠第2団地	7棟・150戸	23年
九品寺第2団地	2棟・55戸	27年	秋津団地	12棟・302戸	23年
帯山団地	2棟・56戸	27年	琴平第2団地	4棟・64戸	22年
下南部団地	8棟・288戸	27年	上代団地	5棟・150戸	22年
佐土原団地	2棟・55戸	26年	井芹団地	4棟・120戸	22年
東町桜団地	6棟・200戸	26～27年	新地団地	5棟・500戸	20年
託麻団地	3棟・90戸	20年	25団地合計	3213戸	

約 660 億円の新市計画は聖域扱い

小・中学生の教育予算は足りません

合併3町(富合・城南・植木町)の新市計画約660億(10年間)が「聖域扱いとなっており、見直すべき」と日本共産党は追及しました。

一方、教育予算は貧しい状況です。10年度は、耐震改修工事に重点を置いた結果、水泳プール建築は、下益城城南中学校1校のみ、小学校はゼロ、11年度は、小・中学校でゼロ。体育館改築も、09年度からゼロ。

学校現場からは、さまざまな改修の要望がありますが、予算は極めて少ないまま据え置かれています。ソフト事業についても、昨年、当初予算では、図書司書業務補助員と学級支援員の勤務時間を短縮。議会の指摘を受け、9月補正予算で是正されました。また、学校現場からは、いじめ・不登校や問題行動などの課題を持つ児童生徒に対して、スクールソーシャルワーカーが係わり、多くのケースで改善が図られており、人員拡充の要望が寄せられています。大型ハコ物や新市計画を見直し、教育現場の人員配置や教育環境整備予算の拡充を求めました。